

技術連携統括本部 (ITeCH)

「コアファシリティ」から「ITeCH (技術連携統括本部)」へ
～技術支援による教育研究の価値の最大化～

北大コアファシリティ構想に基づき、持続的な成果の創出と
社会還元を支えるEBPM研究基盤強化推進体制を確立

【コアファシリティ構築支援プログラム(R2-R6)】

研究基盤IRを活用したEBPM研究基盤マネジメント
体制の整備

- 研究基盤IRシステムの構築(研究設備データ集約と活用)

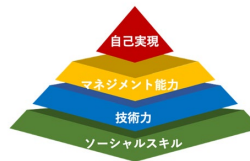
- 「研究基盤高度化委員会」の設置 (R3年8月)

機器共用機能強化プログラム

- R&Tコラボプロジェクト(研究者と技術者による共同研究開発)
- REBORN (研究機器の高度化支援プログラム)
- テックガレージ(ものづくり技術アントレ教育)

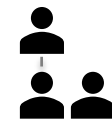
研究支援人材育成プログラム

- マネジメント人材育成PJ:
技術職員自ら理想とする技術職員像を実現するための学びと意識改革
- マルチスキル人材育成PJ:
主体的な企画・運営の場の提供、学外機関との連携・交流
- 先行雇用若手技術職員研修PJ:
前倒し雇用によるシームレスな技術支援、複数の職場でOJT教育



技術職員のさらなる活躍を促し、教育研究力を高めるための抜本的
制度改革・組織改革

技術連携統括本部 (ITeCH) 令和7年7月発足



本部長

副本部長 (2名)

新設
テクニカルサイエンティスト
大学初となる
高度技術専門職

事業統括室 (PM室)

研究基盤・研究人材マネジメントの中核体制の構築

本部の組織運営、技術教員の人事、評価制度、人材育成、全学的な
技術技術支援、機器共用の推進など

技術部門

230名の技術職員を一元化。
管理職を配置し、評価体制を構築。
技術職員を戦略的に育成。



総合研究基盤総合センター
(GFC)

機器設備のみならず、フィー
ルドを含めた研究リソースや
技術を核とした事業を展開。

